

熊本南部森林管理署交渉（全国林野関連労働組合熊本南部森林管理署分会）

議事要旨

1 日 時 平成31年2月27日（水） 17：15～18：15

2 場 所 熊本南部森林管理署 会議室

3 出席者

熊本南部森林管理署  
同  
同

工藤 孝 署長  
高木 周一 次長  
中村 昭一 総括事務管理官

全国林野関連労働組合熊本南部森林管理署分会  
同  
同  
同  
同

淀水 義文 委員長  
中山 俊和 副委員長  
内海 康雄 書記長  
江口 保広 執行委員  
山口 利明 執行委員

4 交渉事項

- (1) 平成31年度業務運営等（要員問題含む）について
- (2) 職員の労働負担軽減について
- (3) 事業の平準化について
- (4) 労働諸条件の改善について

5 議事概要

- (1) 平成31年度業務運営等（要員問題含む）について

組合) 労働過重となっている職場実態の解消に向け具体的な対策を求め、平成31年度業務運営等について、課題解消を図ること。

空きポストが増加していることから、具体的な対策等解消に努めること。

当局) 当署要員ポストは31名中、一般職員を含めても3名少ない状況であり、局全体でも3Gポストが少なく、喫緊の課題と認識してる。

業務・事務の改善や、定型的な事務のアウトソーシング、再任用・非常勤職員等の活用を図るため予算の確保等を含め上局へ上申して参りたい。

- (2) 職員の労働負担軽減について

組合) 年々退職者が増加していく中、新規採用者とのアンバランスが生じている。その中でも若手職員は、責任ある仕事（3G）を行っている状況であることから、職員の不安や不平が出ないように目配り、気配りを行うこと。

当局) 若手職員には、今後のためにもいろんな経験をしていく必要があり、将来に備えて、技術力等実力をつけておかなければならない。

職場内での協力体制を図りながら、なお一層のフォローアップに努めて参りたい。

組合) 現場管理機能の確立について、10年後は再任用も含め森林技術員が1名となる状況。現場巡視等を含め今後森林技術員がいなくなった場合の対策に努めること。

当局) 森林技術員の知見は大切であり、OBの活用も検討課題である。森林官に負担が来ていることも承知しており、巡視業務の予算確保を含め上局へ上申して参りたい。

組合) 鹿ネット維持管理について、総延長が毎年増えて行き、森林官等の負担が増大している状況であることから、業務の委託化等出来ないか。

当局) 鹿ネットの補修も含め予算事情もあるが、下刈に巡視項目を追加するなどの検討がなされていると聞いていることから、上局へも上申して参りたい。

### (3) 事業の平準化について

組合) 事業量が増える中、計画的な事業発注を図ること。

当局) 収穫調査等の前倒し作業など、職員に負担をお願いしているところであるが、平成31年度生産請負事業の約4割程度は早期発注を行い、第一四半期までには発注を終えたいと思っている。当然事業に係る予算については確保する予定である。

### (4) 労働諸条件の改善について

組合) 計画的かつ効率的な事業実行を進めていく観点から、非常勤職員、庁費、旅費等の予算の確保に努めること。

当局) 職員が、業務を遂行しやすいよう必要な予算の確保に努めて参りたい。